

「地域を活かす科学技術政策研修会」の実施概況(1/6)

2015・02・21

公益財団法人全日本地域研究交流協会 (JAREC)

項目	年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
事業名		研究コーディネーター研修会 (第1回研修会)	第2回地域を活かす科学技術政策 研修会	第3回地域を活かす科学技術政策 研修会	第4回地域を活かす科学技術政策 研修会
開催月日		10月19日(火)～21日(木)	10月26日(水)～28日(金)	10月18日(水)～20日(金)	10月16日(水)～18日(金)
開催場所		ホテルKSP (神奈川県川崎市)	アマダフォーラム246 (神奈川県伊勢原市)	科学技術庁研究交流センター (茨城県つくば市)	大垣フォーラムホテル (岐阜県大垣市)
受講人数		33名	32名	37名	34名(初日80名)
研修の概要	第1日 午後	講演及び事例発表 ・地域への科学技術政策 ・国際化の中での地域経済の活性化 ・地域における研究交流の在り方とコーディネーターの役割 ・科学技術の振興と地域の活性化	講演 ・地方分権と科学技術政策 ・地域の活性化と科学技術 ・地域の科学技術政策のフレームワーク及びケーススタディオリエンテーション	講演等 ・地域における科学技術振興施策 ・科学技術政策のフレームワーク ・企業育成と行政支援	講演等 ・地域の発展と科学技術振興 ・科学技術基本計画と地域科学技術政策のフレームワーク ・空洞化の行方と地域産業の未来 ・地域科学技術行政における公設試の役割(秋田県、岐阜県)
	第2日 午前	・企業からみた科学技術への期待 ・山形県高度技術研究開発センターの設立経緯 ・長崎県における産学官協力	国の政策及び制度の説明 科学技術庁 通商産業省 文部省	国の政策及び制度の説明 科学技術庁 通商産業省 農林水産省	国の政策及び制度の説明 科学技術庁 自治省 通商産業省 国土庁
	第2日 午後	・神奈川県における第3セクターの運営 ・知的所有権 ・研究交流と技術移転	ケースタディー(グループ討論) 公設試の再編整備の進め方 人材確保に係わる問題点 新研究機構の役割とマネジメント 国際連携と科学技術 インキュベーター 政策(研究)課題の絞り込みと産学官との連携	ケースタディー(グループ討論) 公設試験研究機関の役割 地域の科学技術振興財団の役割 地域における科学技術振興策策定の問題点	講演 地域における科学技術振興施策 パネルディスカッション 地域における新産業創出の諸条件 グループ討議 //
	第2日 夜	フリーディスカッション	ケースタディー発表準備	発表準備	—
	第3日 午前	見学(KAST、KSP)	ケースタディー(討論結果発表)	討論結果発表 総括	総括 講演
	第3日 午後		総括(討論及び質疑)	現地視察 宇宙開発事業団筑波宇宙センター 研究支援センター	現地視察 ソフトピアジャパン 養老天命反転地
備考		JAREC単独開催	JAREC単独開催	JAREC単独開催	JAREC。共催：岐阜県

「地域を活かす科学技術政策研修会」の実施概況(2/6)

項目	年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
事業名		第5回地域を活かす科学技術政策研修会	第6回地域を活かす科学技術政策研修会 -地域の産業再生-	第7回地域を活かす科学技術政策研修会 -新事業の創出-研究開発とニューズ	第8回地域を活かす科学技術政策研修会 -地域振興と地域COE-
開催月日		10月21日(火)～23日(木)	10月14日(水)～16日(金)	10月27日(水)～29日(金)	10月18日(水)～20日(金)
開催場所		かずさアカデミアセンター (千葉県木更津市)	姫路キャッスルホテル (兵庫県姫路市)	名鉄トヤマホテル (富山県富山市)	熊本テルサ (熊本県熊本市)
受講人数		45名(初日65名)	44名(初日97名)	50名(初日110名)	50名(初日100名)
研修の概要	第1日 午後	講演等 ・国際化と地方の科学技術 ・第三回地域における科学技術振興に関する調査研究 ・光技術の可能性 ・事例紹介(地域と海外の連携(岩手県)、浜松地域の連携(財浜松テクノポリス推進機構))	講演 ・情報流通社会発展に向けた研究開発 ・地域の産業再生とマーケットドリブン型の研究開発の新課題 ・ハイテク化、情報化による伝統産業の活性化と地域産業の発展	講演 ・競争力のある技術の開発維持のために ・新事業の創出に向けて ・技術開発による地域振興とベンチャーキャピタル	講演 ・地域の科学技術振興を考える ・産業技術の研究開発と地域振興 各省庁等施策説明 科学技術庁 文部省 通商産業省 科学技術振興事業団
	第2日 午前	・事例紹介(地域と大学の連携(立命館大学)、企業と地方公共団体の連携による技術開発(福岡県)) ・転換期の科学技術振興 ・グループ討議(地域の連携事例に関する討論)	国の政策及び制度の説明 科学技術庁 通商産業省 文部省	各省庁等施策説明 科学技術庁 通商産業省 文部省 郵政省 農林水産省 科学技術振興事業団	講演 ・地域COEの経験をふまえて[研究統括] ・地域における研究開発事業の展開と視点 ・地域起業家支援活動から
	第2日 午後	・パネルディスカッション 地域の科学技術政策の大綱と今後の連携の在り方 ・国の政策及び制度の説明 科学技術庁、通商産業省、運輸省、郵政省	・パネルディスカッション 「地域の産業再生」 ・全体討論 話題提供:シリコンバレー産業の再生と旧理研・産業段による企業創生	・グループ討論会 A. 公設試の在り方 B. 地域において期待されるコーディネーターとは C. 産学公連携-研究開発とニューズ D. 地域における科学技術政策の広がり	・グループ討論会(モデレータ指導) A. 国の事業と地域の政策課題のリンク-地域結集型ケーススタディー- B. 地域産業の技術革新力をどう高めるか C. 地域において期待されるコーディネーター
	第3日 午前	総括 講演 地域の連携と科学技術振興の課題と問題点	講演・「地域 科学技術政策のフレームワーク」-知的資源の空間集積:クラスタリング効果- 総括	講演 ・私観「起業と経営」 総括	講演 ・脱、下請企業のシナリオ 総括
	第3日 午後	現地視察 かずさアイ・エヌ・エー研究所 新日鉄総合技術センター アクアライン海上見学	現地見学 播磨科学公園都市 Spring-8	現地見学 YKK株式会社 黒部事業所	施設見学 熊本テクノ・リサーチパーク 第2テクノ・リサーチパーク
備考		JAREC。共催:千葉県	JAREC。共催:兵庫県、(財)ひょうご科学技術創造協会	JAREC。共催:富山県、(財)富山技術開発財団	JAREC。共催:熊本県、(財)熊本テクノポリス財団

「地域を活かす科学技術政策研修会」の実施概況(3/6)

項目	年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
事業名		第9回地域を活かす科学技術政策研修会	第10回地域を活かす科学技術政策研修会	第11回地域を活かす科学技術政策研修会	第12回地域を活かす科学技術政策研修会
開催月日		10月17日(水)～19日(金)	10月16日(水)～18日(金)	10月22日(水)～24日(金)	10月20日(水)～22日(金) 台風23号により、プログラム調整
開催場所		札幌全日空ホテル (北海道札幌市)	博多東急イン (福岡県福岡市)	ホテルグランヴィア広島 (広島県広島市)	ラヴィール岡山 (宿)三井ガーデンホテル岡山 (岡山県岡山市)
受講人数		60名(初日75名)	57名(初日65名)	64名(初日70名)	54名(コアメンバー以外10名)
研修の概要	第1日	午後 基調講演等 ・産・学・官連携から企業化へ ・企業化支援策について 各省等施策説明 ・地域における科学技術関係調査概要等 文部科学省・経済産業省・科学技術振興事業団	午後 基調講演等 ・産・学・官連携から企業化へ ・効果的産学官連携の構築から知的クラスターまで 各省等施策説明 ・地域における科学技術関係調査概要等 文科省・経産省・農水省他	午後 基調講演等 ・ベンチャー・クラスター育成と日本経済の活性化 各省等施策説明 ・地域における科学技術関係調査概要等 文科省・経産省・農水省他	午後 講演等 (※台風23号の障害) ・岡山県の科学技術・産業振興施策 その他講演 各省等施策説明 ・農水省、科学技術振興機構 ・地域科学技術調査
	第2日	午前 講演 ・地域の科学技術政策について ・産学官連携を探る	特別講演等 ・科学技術をめぐる最近の話題 ・大学発ベンチャーとベンチャーキャピタル ・ベンチャー事例	午前 話題提供 ・効果的な地域振興策のために 講演 ・マイクロ化学チップー大学のシーズから産業創成を目指して	午前 講演 ・文化財の科学分析、企業と研究 ①テーマ討論 ・地域産業の活性化と県・大学・第三セクター(財団)の連携と役割
	第2日	午後 グループ討論 A、地域における企業化について B、見えない地域ニーズのとらえ方 C、地域結集型共同研究事業の展開について	グループ討論 A. 地域振興と各省政策の融合 B. ベンチャー育成策のあり方 C. 公設試とベンチャー D. インキュベーション	グループ討論 A. 地場産業の活性化と公設試 B. 地域の科学技術振興と大学への期待 C. 各省施策実施後の地域でのフォローアップ体制について D. 大学シーズデータと企業ニーズデータの活用方策について	午後 ②テーマ討論 ・地域産業の活性化と公設試験研究機関の役割 2テーマのまとめ討論
	第3日	午前 講演・地域活成果性化とベンチャービジネス ・グループ討論報告 ・総括	講演 ・人ありきベンチャープロデュース ・グループ討論報告 ・総括	講演 ・広島県の産業振興施策について 総括・講評	講演 ・チャンス発見IT・人間の協働で成果 農業ベンチャー企業の設立 ・総括・講評
	第3日	午後 現地視察 研究成果活用プラザ北海道 北大先端科学技術共同研究センター、北海道産学官協働センター等	現地視察 JST研究成果活用プラザ福岡 (株)福岡ソフトサイエンスパーク	現地視察 JST研究成果活用プラザ広島 (株)サタケ	施設見学 (株)林原生物化学研究所 藤崎研究所
備考		JAREC。共催：北海道、北海道科学技術総合振興センター。後援：JST	JAREC。共催：福岡県、福岡県産業・科学技術振興財団。後援：JST	JAREC。共催：広島県、ひろしま産業振興機構。後援：JST	JAREC。共催：岡山県、(財)岡山県産業振興財団。後援：JST

「地域を活かす科学技術政策研修会」の実施概況(4/6)

項目	年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業名		第13回地域を活かす科学技術政策研修会	第14回地域を活かす科学技術政策研修会	第15回地域を活かす科学技術政策研修会	第16回地域を活かす科学技術政策研修会
開催月日		10月19日(水)～21日(金)	10月18日(水)～20日(金)	11月07日(水)～09日(金)	10月22日(水)～24日(金)
テーマ		地域発イノベーション創出に向けて	地域イノベーションの起動力の点検	地域のイノベーション・システムの課題	産学官の融合によるイノベーションの促進
開催場所		けいはんなプラザ・ホテル (京都府相楽郡精華町)	仙台ガーデンパレス (宮城県仙台市宮城野区榴岡)	宇都宮東武ホテルグランデ (栃木県宇都宮市)	マイドームおおさか (大阪府大阪市)
受講人数		56名(初日65名)	111名	112名	110名
研修の概要	第1日	午後 基調講演等 ・情報化社会第2ステージのイノベーション。脳とロボットをつなぐインターフェース ・各省等施策説明(文科省・経産省・農水省他) ・地域関連施策説明と討論	基調講演等 ・地域イノベーションを起こす要素とフレームワーク ・公設試の活性化を試みて ・各省等施策説明 ・地域関連施策説明と討論(文科省・経産省・農水省・国交省・環境省他)	基調講演 ・地域のできること、地域がやること 各省等施策説明(質疑応答)・文部科学省・経済産業省・農林水産省・国土交通省・環境省・厚生労働省・科学技術振興機構	基調講演等 ・地域を超えた最強チームによる先端医療技術の事業化開発(高橋克仁氏) ・大学が積極的に地域と連携を模索する地域密着型技術開発(山内皓平氏) 各省等施策説明(討論)(文科省・経産省・農水省・中小企業機構・科学技術振興機構)
	第2日	午前 講演 ・京都府の科学技術・産業振興施策 ・企画・開発の失敗について	講演 ・地域におけるイノベーション成功の要件 ・宮城の産業振興と産学連携そして公設試	講演 ・IT化によるものづくり力向上と栃木県の取組み ・地域の科学技術実態調査結果概要 ・グループ討論のねらいと展望	講演 ・大阪府のものづくり支援とイノベーション推進の現状と課題 ・中小企業の技術開発支援推進の現場からみた現状と課題(他)
	第2日	午後 テーマ討論 ①地域の産業活性化と大学の役割 ②地域のサステナビリティ ③石川MOTシンジケートによる地域のイノベーション 概要報告:地域科学技術振興研究会と今後の方向	・地域科学技術振興研究会の活動報告 ・公設試はどう変わったかー狙いは何か グループ討論 ①個を活かす場の形成 ②プロダクトイノベーションの成功のために ③国の政策をどう活用するか	グループ討論 ①地域イノベーションの構想づくり ②地域イノベーションの実行のための組織 ③地域イノベーションを持続させるための支援	グループ討論 ①地域イノベーションの構想(戦略)づくり ②地域イノベーションの実行のための組織づくり ③地域イノベーションを持続させるための方策
	第3日	午前 ・参加者全員感想と討論 ・総括	グループ討論全体会議 (3グループの各報告と全体討論) 総括・講評 研修会を通じて何が得られたか	グループ討論全体会議 (3グループの報告と全体討論) 総括・講評(研修会を通じて何が得られたか、今後への期待)	施設見学・懇談 ・クリエイション・コア東大阪 ・中小企業経営者との懇談 創機システムズ・ユウビ造形・
	第3日	午後 施設視察 けいはんな新産業創出・交流センター(株)国際電気通信基礎技術研究所(株)島津製作所基盤技術研究所	施設見学 東北電子産業株式会社利府事業所	施設見学(希望者) 栃木県産業技術センター(栃木県産業創造プラザ)	ユニクス ・大阪企業家ミュージアム ・史跡重要文化財 適塾
	備考		主催: JAREC。共催: 京都府、株式会社けいはんな。後援: JST	主催: JAREC。共催: 科学技術振興機構、宮城県・みやぎ産業振興機構	主催: JAREC。共催: 科学技術振興機構、栃木県

「地域を活かす科学技術政策研修会」の実施概況(5/6)

項目	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業名		第17回地域を活かす科学技術政策研修会	第18回地域を活かす科学技術政策研修会	第19回地域を活かす科学技術政策研修会	第20回地域を活かす科学技術政策研修会
開催月日		10月28日(水)～30日(金)	11月24日(水)～26日(金)	平成24年1月25日(水)～27日(金)	平成25年2月6日(水)～8日(金)
テーマ		地域発イノベーションを促進するための組織づくり	地域のイノベーションを加速するための強化策	地域のイノベーションを加速するための拠点のあり方を探る	オープンイノベーションによる地域の活性化を目指して
開催場所		岐阜都ホテル (岐阜県・岐阜市)	ホテルグランヴィア広島 (広島県・広島市)	ヒルトン福岡シーホーク (福岡県・福岡市)	ホテル テラス ザ ガーデン水戸 (茨城県・水戸市)
受講人数		125名	110名	110名	110名
研修の概要	第1日 午後	基調講演等 ・技術開発型企業の未曾有な経済危機への対応と行政への要望 ・各省等施策説明・質疑 (文部科学省・経済産業省・農林水産省・中小企業基盤整備機構・科学技術振興機構)	基調講演等 ・知識情報社会における産学官連携の役割と今後の課題 ・各省等施策説明・質疑 (文部科学省・経済産業省・農林水産省・中小企業基盤整備機構・科学技術振興機構)	基調講演等 ・進化する企業イノベーション(基盤技術を基に新たな技術への展開) ・各省等施策説明・質疑 (文部科学省・経済産業省・農林水産省・中小企業基盤整備機構・科学技術振興機構)	基調講演 ・スマートシティへの日立の取組 ・各省等施策説明・質疑(文部科学省・経済産業省・農林水産省・科学技術振興機構)
	第2日 午前	講演 ・岐阜県の科学技術振興施策 ・公設試技術支援過去・現在・未来 ・グループ討論への緒論・課題	・ロードマップ法演習ガイダンス ・地域の科学技術振興と今後の課題 “温故知新・第I期～III期” 講師 (広島県・福岡県・福井県)	講演 ・福岡県の科学技術振興への取組 ・JST地域拠点期待と要望 ・公設試の役割に関する調査報告	講演 ・茨城県における成長産業育成に向けた取り組み ・産官学のネットワークの強化(JST) ・地域に見る新たな産学連携のあり方
	第2日 午後	グループ討論 ①地域企業のイノベーションの加速に向けた戦略・戦術 ②地域企業のイノベーションの加速に向けた人材育成と活用 ③地域行政・大学の意識改革 概要報告 グループ討論のまとめ・発表 研修会総括	・ロードマッピングの効用と活用 演習 ①広島県のプロジェクト研究開発の事例 ②福岡県のプロジェクト研究開発の事例 ③福井県のプロジェクト研究開発の事例 ・まとめ、発表 研修会総括	ガイダンス ・拠点創り、地域はどの方向へ向かうか グループ研修(プロジェクトマネジメント) ①地域産学連携機関の保管連携によるプラットフォームのあり方 ②大きなイノベーションに向けたプラットフォーム ③地域の技術開発型企業の支援プラットフォーム (まとめ・発表)	グループ討論の進行・展開ガイド グループ討論 ①地域における産学連携の意義を再考する ②公設試に期待する役割と地域における特徴的取組み ③地域のポテンシャルを活かしたグローバルな展開について
	第3日 午前・午後	施設見学会 ・フェザーミュージアム(関市) ・エーザイ内藤記念くすり博物館 ・かかみがはら航空宇宙科学博物館	施設見学と懇談・討論 ・マツダ株式会社(安芸郡府中町) ・株式会社サタケ(東広島市西条)	施設見学と懇談・討論 ・3次元半導体研究センター ・水素エネルギー製品研究センター (福岡県・糸島市) ・シャボン玉石けん株式会社(北九州市)	施設見学と懇談・討論 ・(株)日立エンジニアリング・アンド・サービス(日立市) J-PARC(東海村) ・独立行政法人物質・材料研究機構
備考		主催：JAREC。共催：岐阜県・科学技術振興機構	主催：JAREC。共催：広島県・科学技術振興機構 協賛：新技術振興渡辺記念会	主催：JAREC。共催：福岡県・科学技術振興機構他 協賛：新技術振興渡辺記念会	主催：JAREC。共催：茨城県・科学技術振興機構

「地域を活かす科学技術政策研修会」の実施概況(6/6)

項目	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業名		第21回地域を活かす科学技術政策研修会	第22回地域を活かす科学技術政策研修会		
開催月日		1月29日(水)～31日(金)	1月28日(水)～30日(金)		
テーマ		— 地域が果たすイノベーション力強化への役割 —	— 地域を超えた農水工連携と起業化への進展を志向する —		
開催場所		ホテルクラウンパレス神戸 (兵庫県・神戸市)	ホテル札幌ガーデンパレス (北海道・札幌市)		
受講人数		160名	126名		
研修の概要	第1日	午後 基調講演等 ・ドイツ連邦共和国バイエルン州における地域産業振興と科学技術 ・各省等施策説明・質疑 (文部科学省・経済産業省・農林水産省・科学技術振興機構)	基調講演 ・社会ニーズに基づいた技術とそのシステム統合化による起業化 ・各省等施策説明・質疑 (文部科学省・経済産業省・農林水産省・科学技術振興機構)		
	第2日	午前 講演 ・兵庫県における科学技術・産業振興の成果とその教訓 ・神戸市の医療産業都市構想の取組 午後 グループ討論 ①大きなイノベーションに向けた技術の統合化・高度化取組と課題 ②地域の技術開発型企業の活性化に向けた、公設試の広域的な連携による支援の方策と課題 ③私学の地域振興に向けた取組と課題 概要報告 グループ討論のまとめ・発表	講演 ・北海道における科学技術振興施策 ・北海道における公設試の新たな取り組み ・函館マリンバイオクラスター形成の課題と将来展望 グループ討論 ①地域を超えた産学連携の新たな模索 ②農水・工業系の連携で特長ある新製品・サービス開発 ③中堅・中小企業のグローバル展開		
	第3日	午前 施設見学会 ・E-ディフェンス ・博物館 防災未来館 午後 ・京コンピュータシステム ・FOCUSスパコン	施設見学 ・北海道大学創成研究機構 ・カルビー株式会社千歳工場 ・北海道区水産研究所千歳さけます事業所		
	備考	主催：JAREC。共催：兵庫県・神戸市・科学技術振興機構・ひょうご科学技術協会、後援：京都府・大阪府・京都市・大阪市	主催：JAREC 共催：北海道・科学技術振興機構(JST) 後援：札幌市・北海道立総合研究機構・北海道科学技術総合振興センター		